

小規模多機能（しょうたき）かもいけ 笠松 しげ
 小規模多機能型居宅介護とは1つの事業所で通い・宿泊・訪問を提供する地域密着型・月額定額制の介護サービスです。

- ・地域に住んでいる要介護1〜5までの高齢者が対象
- ・定員24名（通いは15名以下・宿泊は6名）
- ・24時間365日希望に応じた介護

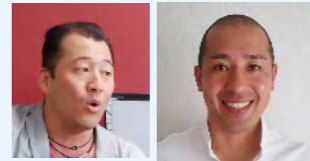
・高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送れるように支援しています。

かもいけではその人らしい「生き方」「暮し方」を支援します。理念は「ひとり、ほっこり思いやりを！住み慣れた地域で可能な限り、自分らしく生活できるように支援します。ご家族の負担を少しでも軽減できるようにお手伝いします、をモットーに笑顔がたくさんみられるように個々の気持ちに寄り添います。

毎週月曜日、理学療法士芝原庸氏による機能改善、維持を目的にリハビリ体操の指導等に取り組んでいます。又、火曜日・木曜日は音楽セラピスト認知症ケア専門士でもある中川ともゆき氏が働いています。音楽を通じて認知症の症状緩和と利用者の方々には大人気です。又ともゆき氏は認知症カフェでもおなじみです。

かもいけでは食事は全て手作りで。旬の食材を使った料理や郷土料理等楽しんでいきます。

9月の敬老の日には荏田南幼稚園をお借りしてコンサートを開催しています。地域の皆様にも開放しています。残念ですがコロナ禍で今年も開催できません。この他にも春は房総、秋は箱根へバスハイクに出かけていきます。毎日笑顔でいられるようにと願って職員一同頑張っています。



今 できること 主任児童委員 常広 有香里

「外 あそび いく」をご存知ですか？これは主任児童委員の活動の一つです。0歳児〜未就学児を対象とし、月に一度都筑荏田地区内の公園で一緒に遊ぼう！と言うものです。どの公園で遊ぶかは月毎に違います。チラシ（区役所・ポポラ・葛が谷地域ケアプラザに置いてあります）を見て下さいね。

その活動ですが、コロナ禍に突入ししばらく出来ませんでした。日々変化する中、再開して良いものかと悩みましたが手指の消毒・検温・三密回避で行うことにし、昨年十二月に再開しました。冬の曇り空の日、九組の親子の参加がありました。ご主人がリモートとなったので邪魔にならないようにと参加したママ。子供が家の中だけでは物足りず、外で遊びたがっているのと少しお困りのママ。公園デビューもままならず、お友達が出来ない。相談する相手がいない。など状況は様々ですが皆さん苦労されているようでした。

その日はまんまる広場の周りの山道をどんぐりを拾いながら歩きました。ゴールの広場では落ち葉のシャワーに絵本の読み聞かせ。子供たちの目がキラキラと輝き、その姿を見つめるママ達の優しい眼差しに私達もほっこりした気持ちになりました。

「外 あそび いく」では子育てネットワークのメンバー（保健師・赤ちゃん訪問員の方々など）がお待ちしています。私達民生委員もいます。たまには肩の力を抜いて一緒におしゃべりしませんか。そんな日があっても良いですよ。



地球環境について

荏田南中学校 三年 藤井 海生

最近、ニュースなどで地球環境についての話題が多くなりました。地球温暖化や海洋汚染などさまざまです。

そんな中わたしは、テレビニュースでウミガメの鼻にプラスチック製のストローが詰まっているというニュースを見ました。そのニュースを聞いて、最初は耳を疑いました。「まさかストローがウミガメに害をくわえていたなんて」と思い、わたしはすぐさまインターネットでそのことを調べ、動画を見てみました。そこには、十センチほどのストローがウミガメの鼻奥までしっかりと入っており、ウミガメがとても苦しうにしていた光景でした。わたしは胸が苦しくなりました。自分たちのせいで海洋生物がこんなめにあっているんだという失望感がこみ上げてきて、わたしは海洋汚染について調べてみました。調べてみると、海洋ごみは年々増加してきており、このまま対策をしないかたければ二〇五〇年には魚よりもごみの数のほうが多くなってしまおうという予想までされています。その記事を読んだわたしは少しでもプラスチックを減らすことはできないかと考え、プラスチック製のフオークやスプーンを使わないようにしてみました。世の中でも今、プラスチック製のストローやビニール袋を有料化したり、木製にしたりとプラスチック削減の動きが高まっています。

この出来事からわたしは、プラスチックを使うのは仕方がないけれど日常生活からでもプラスチックを削減することはできるということを知ったので、これからは福祉の心を忘れずに生活していきたいと思いました。

着任挨拶

荏田南小学校副校長 井上晋吾

今年度、荏田南小学校に着任しました井上晋吾です。荏田南小学校に着任して感じていることは「あいさつ」と「ICTの活用」です。

廊下を歩いていると、「おはようございます。」と「あいさつ」がやってくる。「先生は川和東にいたんだよね。」とその後の会話につながっていきます。とっても新鮮でした。「どうしてあいさつする子どもが多いのかな。」と思っていると、毎朝、門で「おはようございます！」とあいさつをしている子どもたちがたくさんいました。当番活動ではなく、学校で取り組んでいる「あいさつ名人」になるために自分から進んで行っているのです。普段の生活の中で、自分から話しかけるには勇気がいります。最初の声かけにはきつかけが必要かもしれません。この「あいさつ」が自然と話しやすい環境をつくり、子どもたちのコミュニケーション能力を育てることに繋がっているなと感じています。

次に「ICTの活用」です。教室にはプロジェクトがあり、先生は、デジタル教科書を活用して、写真やグラフなどの資料を黒板にうつします。さらにその資料を子ども一人ひとりもっているGIGA端末(iPad)にもおくりまします。子どもたちは、自分の考えを先生のiPadにおくり、その内容をテレビにうつしたり、クラスみんなのiPadにおくりたりして発表しています。先生や子どもたちが日常的に使っている姿に驚いてしまいました。

感染症によりこれまで通りの学校生活が送れない、また地域行事も開催が難しいなど困難な状況ではあるかと思いますが、「チーム荏田南」でがんばってまいりますので、ご協力よろしくお願ひします。



Part 1

葛が谷地域ケアプラザ生活支援コーディネーターのつぶやきコラム



このたび人事異動により、9月1日付で生活支援コーディネーターとして着任いたしました中村昭代です。これからは「生活支援コーディネーターのつぶやきコラム」と題して、ケアプラザからのお知らせや取り組み等をお伝えしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍の生活で、外出の機会が大幅に減り体力の低下が気になったり、知人としばらく会っていないがお変わりはないか心配との声を聞くこともあります。先日、私はコロナ禍で会えなくなった友人に手紙を書いてみました。便箋を選び、直筆で書くという作業は、電話やメールが主流となった今、とても新鮮に感じました。友人からは素敵な絵手紙のお返事が届きました。あたたかい気持ちが手元に残る「お元気ですか」の確認ができました。しばらくお会いできていない方へぜひ「お元気ですか」の確認をしてはいかがでしょうか？もしご近所で心配な方がいれば、まずはお気軽にケアプラザまでご相談ください。

TEL:045-943-5951

<http://www.yokohamashakyo.jp/kuzugaya/index.html>

小規模多機能型居宅介護施設 しょうぶ

都筑区荏田南 3-12-14
 (荏田高校前下車 徒歩3分)
 電話 045-482-7272

デイサービス・訪問介護・泊りが、同じ施設内でご利用頂けます。お気軽に見学・相談して下さい。



深澤りつクリニック 医療福祉相談室

☎ 045-914-4101 メール: soudan@ritsu-c.com
 訪問看護ステーションNOA
 ☎ 045-914-4003 FAX:045-913-9345
 〒224-0003 都筑区中川中央1-28-19 グリーンエージ202

小規模多機能型居宅介護 Harmony House

☎ 045-530-5070 FAX:045-530-5217
 〒224-0033 都筑区茅ヶ崎東2-12-24

どんなことでもお気軽にご相談ください!



看護師常駐、医療処置対応ができます
 通所介護・個室入浴ができる半日デイサービス

ベルーガヘルスケアサロン

電話 045-532-6516
 都筑区茅ヶ崎中央 24-12
 ライオンズプラザ港北ニュータウン 201
 (都筑区総合庁舎バス停前すぐ)



足浴や看護師による爪切りも行っています。
 随時見学受付中。介護のこと何でもご相談ください。
 担当：村上・鬼頭

小規模多機能型居宅介護施設 かもいけ



都筑区荏田南5丁目 18-53
 (『荏田南』バス停徒歩1分)
 電話:045-942-7961

通い、訪問、泊まりが自由に利用できます。
 スタッフ募集中
 ※介護等について、お気軽にご相談下さい。